

# 愛糖協 会報

発行

愛媛県糖尿病協会  
〒791-0295 東温市志津川  
愛媛大学大学院 医学系研究科 糖尿病内科内  
会長 阿部芳典

特別寄稿

## 愛媛県糖尿病協会 誕生のころから

愛媛県糖尿病協会理事 鷹の子病院 藤井 靖久

### はじめに

昨年はインスリン発見から100年という記念すべき年でした。愛媛県糖尿病協会は創立から46年も経過しましたので、この機会に愛糖協の歴史を振り返ってみたいと思います。

### 日本糖尿病協会創立から 愛媛県糖尿病協会設立まで

日本糖尿病協会(日糖協)は昭和36年(今年で61年)に創立され、当初10支部でしたが、その後昭和52年沖縄県を最後に全国に支部が設立されました。因みに愛媛県では昭和50年3月愛媛糖尿病協会設立準備委員会が世話人松山日赤病院桑島恵一先生、市立八幡浜病院吉田良一先生、県立中央病院藤山正夫先生、松山成人病センター河野恒文先生、国立松山病院三亀宏先生、松山市民病院上田英憲先生で開催され、7月に愛媛県糖尿病協会(初代会長鳴海茂明氏、事務局:松山成人病センター内)が設立されました。同年9月愛媛県糖尿病協会(愛糖協)第1回総会を県医師会館で岡山大学山吹隆寛先生と日糖協副会長知見鬼三(京都府糖尿病協会)氏を迎えて開催し、会員545名の参加で盛会裡に終了したそうです。愛糖協設立に際しては、患者会「八幡浜みどり会」(吉田先生)が昭和39年に銭湯の大きな脱衣場を借りて20人で開催されたこと、日本糖尿病学会阿部正和先生から桑島先生に愛糖協の設立を度々催促されたこと、藤山先生は信州大学から、三亀先生は岡山大学からに協会設立の資料を収集し、会議を重ねて設立に至ったこと、「愛糖協設立は全国からみて最後から何番目という遅い発足であったが、発足2年目の会員数は652名であとから考えると想像できないような大人数であった!」と当時の世話人の先生方が述懐されていたのを思い出します。

### 愛糖協設立後の状況

昭和55年時の愛糖協会員数は384名で、藤山内科110、松山日赤83、県立中央54、市立八幡浜46、松山市民27、周桑病院18、上田内科12名でした。私は昭和53年に県立中央病院に赴任しましたが、当時「さかえ」は各病院にまとめて配布され、病院外来で各会員に手渡していました。年会費は昭和51年までは1200円、52年から55年までは2000円でした。その頃には、患者会「志らさぎ会」(松山日赤)、「八幡浜みどり会」(市立八幡浜)、「にぎたつ会」(県立中央)他が各病院に設立され、各施設で独自に活動が行われていました。その中で藤山内科患者会では、年に一回1泊研修バス旅行による観光、勉強会、親睦会が開催されていました。私も声をかけていただいて、岩屋寺観光後国民宿舎「古岩屋荘」で藤山先生のお話や懇親会に参加しました。その翌年(昭和61年7月)には県立中央の患者さんも一緒に八幡浜の金山出石寺旅行に参加しました。(写真①)愛糖協会長の古谷健市さん、バス他世話役の川上魏さん、成人病センター事務局の大木絹子さん、県立中央の佐々木さん、婦長の渡辺さん等が参加されました。早朝の雲海が鮮やかだったことが思い出されます。



(写真①)藤山内科患者会・金山出石寺一泊研修旅行  
昭和61年7月

## 愛糖協事務局について

事務局の仕事が最も大変だったと思います。愛糖協創立から15年間も松山成人病センター大木絹子さんに河野先生の指導を受けながら松山市医師会事務の傍ら会費徴収、会報の編集・発行・配布などの業務をしていただきました。事務局が平成5年4月県立中央病院栄養部に移転してから、栄養士の方々(井上、古本、新田、高島、滝山、兵頭、三ツ井)並びに清水一紀先生に大変お世話になりました。会報では、新田郁子さんの4コマ漫画「あいちゃん」が好評で、9年間も連載されました。平成22年に事務局が愛媛大学看護学科へ移転(現在は大学糖尿病内科)してからは、中村慶子先生、寺尾奈歩子先生、松岡裕美子さん他看護学科の先生方に勢力的に支援していただいています。

## 小児糖尿病サマーキャンプ

愛糖協の小児糖尿病部門では、貴田嘉一先生が昭和55年に愛媛小児糖尿病サマーキャンプを開催、昭和61年にヤングDMトップセミナーを、平成元年国際小児糖尿病サマーキャンプを開催され、それらの活動は中村慶子先生や愛糖協副会長山本真吾さんらによって現在も継続されています。



愛糖協創立30周年記念表彰 高橋会長から桑島・河野・藤山先生へ感謝状

## 歴代愛糖協会長さんについて

私の記憶では会長は昭和55年頃には仙波さん、そのあと古市健市、栗林英明、高橋勝弥、森田哲司さんと続いて現在は阿部芳典さんです。会長は全国的にみると他県では医師が多いのですが、愛糖協では協会設立時から患者さんでした。協会設立の理念からみてこの点は継続していただきたいと考えています。

## おわりに

愛糖協会員は創立時には患者さんと医師だけでしたが、その後医療スタッフの方々の加入により協会活動は飛躍的に進展しました。また現在の愛糖協活動の発展には、愛媛糖尿病同好会、愛媛糖尿病チーム医療研修会、愛媛地域糖尿病療養指導士(ECDE)などの糖尿病チーム医療の方々の並々ならぬご支援によるものであり、心から感謝申し上げます。今後も患者さん中心のチーム医療が愛糖協活動を基盤として益々発展することを祈念しております。



愛糖協創立30周年記念会 特別講演「脂肪肝は怖い」座談会「愛糖協の歩み」  
(右から高橋会長・藤山・桑島・河野・恩地先生・藤井)

Stride Ahead  
100th

医療を通じて  
社会に貢献する

テルモは創立100周年を迎えました  
テルモ株式会社 www.terumo.co.jp

TERUMO

願いをこめた新薬を、  
世界のあなたに届けたい。

ONO 小野薬品工業株式会社

## 第57回 全国糖尿病週間 友の会だより

テーマ アドボカシー ～偏見にNO!～

〈アドボカシー〉

アドボカシーとは「権利擁護」や「代弁」などという意味を持つ言葉。  
糖尿病領域においては、患者の権利を守り、不当な偏見をなくすために  
医療者と患者が共に行政や社会の理解を得るために行う活動のこと。



### 🌸 コロナ禍でのチーム大洲の活動

大洲市内病院 (大洲中央病院・平成病院・加戸病院  
大洲記念病院・市立大洲病院・大洲市歯科医師会)  
大洲地区有志一同

今年もコロナ禍にて健康相談会の開催は見送りましたが昨年同様、大洲城のブルーライトアップを実施しました。糖尿病の啓蒙はもちろん、現在も頑張っている医療関係者の方々への感謝の意も含んでおります。自粛の中での活動でしたが、来年以降の活動に向けて充電もできました。例年、市民の方より素晴らしい写真をご提供いただき、市民の方々から元気をいただいております。長い自粛期間となりましたが、貯め込んだ「活力」をいつでも放出できるように啓蒙活動の案をしっかりと練っておきたいものです。コロナ禍となり外出の機会が減ったことで糖尿病のコントロールがマイナスとならないように、ピンチをプラスに変えられるような地域の糖尿病チーム会でありたいと思います。また来年！糖尿病週間を楽しみにしたいと思います。



### 🌸 第13回ブルーライトアップの開催

市立宇和島病院(パール会)  
管理栄養士 宇都宮 佳那

昨年のブルーライトアップのイベントを最後に開催が延期になっている糖尿病教室。今年は正面玄関にあるさくらホールにパネルを設置しようと、内科藤堂裕彦先生を中心に立ち上がりました。チームでイベントの活動すること自体、約一年ぶりでした。常連の患者さんからの「絶対見に行くよ。楽しみにしている。」という言葉に励みに、よりわかりやすく、多くの方に注目してもらえるものにするを最重要課題として制作しました。その結果、これまでのイベント開催と違い、不特定多数の方にみてもらえる機会となり、「私の夫も糖尿病なのよ。」と声をかけてもらえ話をしたり、配布しているレシピや運動に関する資料が好評で幾度も補充したり、8日から2週間という短期間でしたが、とても充実した啓発活動になったと実感しています。そして、糖尿病教室の再開を待ち望んでいるたくさんの方への期待に応えられるよう、チームのメンバーで協力し今後の活動に取り組んでいきたいです。



## 🌸 コロナに負けず今年もブルーにライトアップ!

済生会松山病院  
理学療法士 近藤 源

今年の世界糖尿病デーは日曜日、救急当番日にも当たり、患者さんの安全を考慮し、恒例のブルーライトアップは2021年11月12日に行いました。新型コロナウイルス感染症への対応として、昨年に引き続き「記念行事」を含めた各種健康教室はすべて中止中。多くの人を楽しめるイベントもほぼ全てが中止を余儀なくされている状況であり、「せめてライトアップだけは成功させたい!」と、スタッフで協力し取り組みました。その甲斐あってか、連日の雨がこの日だけ上がり絶好のライトアップ日和となり、スタッフ一同胸をなでおろして喜びました。さすがに多くの人に楽しんでもらうというわけにはいきませんでした。道行く人が足を止めて写真におさめる姿を見ると、寒さも忘れ、今年も無事に実施できてよかったと嬉しく思いました。糖尿病、そして新型コロナウイルス感染症との戦いはまだ続きそうですが、『蒼い灯』に込めた想いを常に忘れずにいたいですね。



## 🌸 糖尿病ブルーライトツリー

西条市立周桑病院  
薬剤師 渡部 真静

今年は、「アドボカシー★偏見にNO!」をテーマに十一月九日ブルーライトと風船で飾り付けたツリーを玄関ロビーに設置、新型コロナウイルス対策を考え無人のパネル展示にてイベントを開催しました。「院内糖尿病だより」「運動の継続・将来の自分のために」「糖尿病食は健康栄養食」「偏見にNO!」などの内容を展示しました。患者さんから糖尿病であるがために支障があった事、相談を受けた事など、糖尿病について思うことなど偏見(スティグマ)について、事前に職員アンケートを行いました。様々な思いがあり、支えてくれる人の存在は、モチベーションの維持や向上につながっていくことを再認識しました。その一人である私たちのメッセージをマスクに一枚一枚思いを込めて書き込み、用意しました。マスクを手にした患者さんへメッセージは伝わると信じています。今後もより充実した啓発活動に取り組んでいきたいと思えます。



KAITEKI Value for Tomorrow  
三菱ケミカルホールディングスグループ

田辺三菱製薬

### この手で、未来を。

感じる 描く 動かす  
創る 育てる 届ける  
そして 抱きしめる

健康で長生きできる未来を  
病とその不安を乗り越える未来を  
理想のその先にある未来を

一人ひとりの手で  
みんなの手で  
希望を信じるこの手で

[www.mt-pharma.co.jp](http://www.mt-pharma.co.jp)

## changing diabetes

チーム ノボ ノルディスク  
世界初の全員が糖尿病患者からなるスポーツチーム

team  
novo  
nordisk  
PRO CYCLING

#ChangingDiabetes  
より多くの糖尿病患者さんのより良い人生を実現する。

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1  
[www.novonordisk.co.jp](http://www.novonordisk.co.jp)

## 🌸 せい坊缶バッジで糖尿病週間をPR

西予市立西予市民病院  
看護師 佐藤 みはる

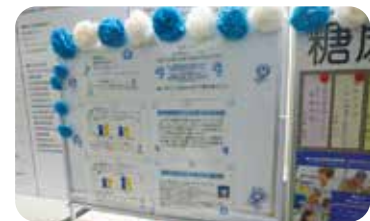
糖尿病週間への取り組みにもっと関心を持ってもらうためにはどうすればよいか?職員全体が主体となり全国糖尿病週間に参加できる内容を健康教育委員で考案しました。業務の負担にならず、かつ全職員が一丸となれるもの。関心と愛着が持てるような当院独自の「バッジ」の製作に決定しました。バッジのデザインを職員に公募したところ「ブルーサークル」とわが西予市のイメージキャラクター「せい坊」を描いた図案が届きました。満場一致でデザインが決定し缶バッジを製作しました。バッジは期間中業務に支障のない範囲で付けてもらい、医師をはじめ看護部、外来患者様方にもオリジナルデザインに高評価をいただき糖尿病週間を終えました。糖尿病に関心を持ってもらうという目標達成と同時に、委員自身が活動に手ごたえを感じることができ、今後糖尿病指導を進めていく活力への大きな一歩につながったと思います。ご協力いただいた皆様に感謝したいと思います。



## 🌸 あおい会糖尿病週間

西条中央病院(あおい会)  
臨床検査技師 矢野 早苗

全国糖尿病週間に合わせて11月5日～11月12日まで「アドボカシー偏見にNO!」をテーマにポスター掲示を行いました。糖尿病は誤解や偏見を抱いている方が多いため、イラストやグラフを用いてQ&A方式に糖尿病について解説を行いました。また、糖尿病川柳の募集を行い、優秀作品の掲載を行いました。川柳には、糖尿病に対する本音や予防対策などがユーモアを交えて組み込まれており、非常に面白く、糖尿病について意識することができました。患者様も足を止め、ポスター・川柳等を見られておりました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、血糖測定、血管年齢測定等、対人でのイベント開催はかなわず、掲示のみでの実施となりましたが、患者様のみならず職員も糖尿病に対する意識を深める機会になったと感じます。これからも活動を継続していきたいと思います。



まだないくすりを  
創るしごと。

明日は変えられる。



astellas  
アステラス製薬株式会社  
www.astellas.com/jp/



糖尿病患者さんの日々を、  
よりよいものにするために。

「糖尿病患者さんにとって、制限のない世界を創造する」それが私たちのビジョン。LifeScan, Inc.は世界中で2,000万人以上の糖尿病患者の方々に製品をご利用いただいている、血糖測定器のリーディングカンパニーです。糖尿病患者さんが使用される測定器をはじめ、センサーや穿刺針、また医療機関で使用される院内専用測定器など、様々な製品をご提供して35年。糖尿病患者さんの日々を、よりよいものにするために、これからも変わることなく貢献してまいります。

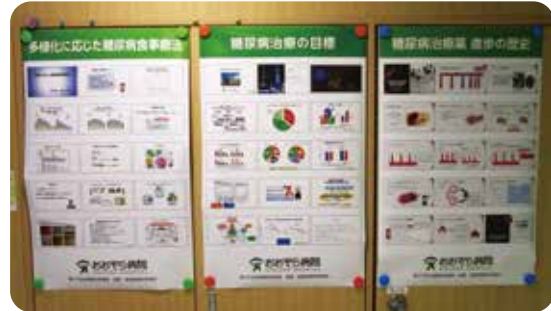
LifeScan

LifeScan, Inc. 株式会社  
東京都中央区日本橋区3-14-10 OYOI, 日本橋ビル  
©LifeScan Japan K.K. 2018

## 🌸 糖尿病デーinおおぞら病院

おおぞら病院  
薬剤師 青木 浩二

「さて、どうします?今回も延期にしますか?」当院会議室にて糖尿病チームを重苦しい空気が包みます。それでも、感染対策を行いつつ、なんとか患者さんへの啓蒙活動ができないかと悩んだ結果、今年は「糖尿病デーイベントinおおぞら病院ver.ハイブリッド」を、開催することに決定しました。主な内容は糖尿病専門医、管理栄養士、理学療法士、薬剤師による講演をオンライン配信し、そのポスターを外来待合に展示することにしました。配信方法は愛媛CATV様にご協力いただき、「えひめ・すこやかチャンネル」にてインターネット配信をさせていただきました。活動評価が困難ではありますが、外来受診の患者さんから「番組見たよ。」や「テレビの前で一緒に体操出来てよかった。」などの声をいただきました。手探りではありますが、これからも臨機応変に啓蒙活動に貢献できれば幸いです。



## 🌸 第26回 十全公開糖尿病教室開催

十全総合病院  
看護師 平田 美紀子

令和3年11月9日(火)~20日(土)、十全公開糖尿病教室を開催しました。今年のテーマは昨年に引き続き「サルコペニア・フレイルを知っていますか」のタイトルで開催しました。内容としてはサルコペニア・フレイルの概要、フレイル予防の運動、サルコペニア予防の食事にタンパク質を手軽に取るためのレシピの紹介、オーラルフレイルについての説明、コロナ禍における感染予防とフレイル対策についてのポスター展示です。今年度は感染対策のため、スタッフ不在での開催でしたが、熱心にポスターを読み、資料を持ち帰る患者さんの姿が見受けられました。現在、感染予防のため思うように患者さんとの関わりが行えない事もありますが、出来る限り寄り添い、疾患への興味や理解を深め、日常生活の中での予防や治療が重要であることを知っていただけるように支援していきたいと思えます。



**Abbott** *life. to the fullest.*  
インスリン使用患者様の最良のパートナー

ダイアベティケア事業部では、日本の糖尿病患者様ひとりひとりに対して、より良い血糖コントロールをサポートすることを通じて、快適な日常生活をおくっていただくことを第一に考え、様々なグルコース測定器や関連製品を提供しています。

アボットジャパン合同会社  
本社 〒110-8305 東京都港区三田3-7-27  
0120-37-8055  
adc@cs.jp@abbott.com

**Abbott**  
EX0217-025

Lilly unites **caring**  
with discovery to  
create medicines that  
make life better for people  
around the world.

**Lilly**

Eli Lilly Japan K.K. is a subsidiary of US-based Eli Lilly and Company. It contributes to medical treatment in Japan through the development, manufacture, import and sale of innovative pharmaceutical products that enable people to live longer, healthier, and more fulfilling lives, focusing on the therapeutic areas such as cancer, diabetes, musculoskeletal diseases, central nervous system diseases, autoimmune diseases, growth disorder, and pain.

**Eli Lilly Japan K.K.**  
5-1-28, Isogamidori, Chuo-ku, Kobe, Hyogo  
www.lilly.co.jp

## 糖尿病週間での院内展示

済生会西条病院  
看護師 大類 加澄

西条市では産業祭という市民参加のイベントが行われ、我が済生会西条病院はその中で自己血糖測定や骨密度測定など糖尿病をはじめとする生活習慣病の予防活動を行ってきました。しかし、残念ながらコロナウイルス感染症の関係で昨年に続き今年も中止となってしまいました。今年は糖尿病への啓蒙活動として院内展示を行いました。コロナ感染症と糖尿病について、毎月のニュースレター、パンフレットなどです。ニュースレターは、昨年糖尿病教室が休止になった際、何らかの形で患者さんの教育を継続し、意欲を支えようとスタッフが企画し、毎月担当者が食事や運動、自己血糖測定機について、患者さんに興味を持っていただけるように工夫してきたものです。展示のみの活動でしたが、期間中に予防接種もあり、幅広い方に見ていただけたと思います。今後も地域に貢献できるよう糖尿病の予防活動に努めてまいります。



## 今年も光る健康川柳

JCHO宇和島病院  
管理栄養士 川口 恵美

当院に於いては、糖尿病週間行事として、例年、医師の講演、血糖・血圧測定、健康相談、糖尿病食の展示、健康川柳の展示等を行い、地域の方々といっしょに楽しく健康を見つめる時間を過ごしてきました。残念ながら未だコロナ禍にある現状では全てを開催できませんでしたが、糖尿病に関するパンフレットの配布と健康川柳の展示は行うことができました。外来や入院中の患者様・ご家族、病院・附属老健スタッフから広く募集し、集まったすばらしい110句は正面玄関ホールに11月の1ヶ月展示し、優秀句は院長、副院長、主治医、スタッフから表彰されるプレミアムイベント付でした。日々の生活から生まれ、自身や家族の健康をみつめた健康川柳は練りに練られた名句(迷句?)ばかり。来院される方々や入院中の方々、スタッフの目を存分に楽しませてくれました。







いのち・かがやく・かがく

アークレイは京都研究所を  
新たな挑戦の舞台とし、  
皆さまの健康を支えます。

アークレイ株式会社



人にやさしい  
“くすり”を  
世界の人びとに

株式会社 三和化学研究所  
SKK

[本社] 〒461-8631  
愛知県名古屋市中区東外堀町35番地  
TEL 052-951-8130  
<https://www.sk-net.com>



## 🌸 チームの想いをポスターに込めて

松山赤十字病院(志らさぎ会)  
臨床検査技師 高橋 志津

2021年11月8日～14日の間、第57回全国糖尿病週間の行事として、テーマに則りポスター展示を行いました。通常は当院友の会の志らさぎ会会員の皆様を中心に、テーマに沿った講演会や食事会を実施しています。しかし、昨年に引き続きコロナ禍という状況での蜜を避けるため、集合形式は取らず、正面玄関横のスペースに糖尿病診療チームの各職種により作成したポスターを展示させていただきました。どのようなものにとすると患者さんに足を止めていただけるか各自工夫を凝らし、内容の濃い、カラフルなポスターが出来上がりました。職種によっては完全に沿うことが難しいテーマでしたが、5日間の展示ではもったいないと思えるような仕上がりとなりました。本来ならば、face to faceでこそ生きるテーマであったので残念でしたが、患者さんの顔を思い浮かべながらポスターを作成し、改めて療養指導の大切さを実感した、今回の糖尿病週間となりました。



## 🌸 第57回糖尿病週間行事において

医療法人聖光会鷹の子病院  
事務 二宮 明子

今年度においても、昨年同様コロナ禍による影響で、例年通り皆さんで集っての行事ができない状態となりました。さて、では今年はどういう活動にしていこうかと、せきれいスタッフの皆で知恵を絞りあい、今年度のテーマ「アドボカシー」に焦点をあて何かしらの啓蒙活動につなげていこうと考えました。正直なところ私も初めて聞くこの「アドボカシー」という単語です。しかし意味を知るにあたって、このテーマはコロナ感染が想像以上に広がり、またSNSの発達に伴い真実でない情報が拡散されがちなの時代にこそ、じっくりと真剣に取り組むべき問題だと感じました。当院では、患者様のみならず、他の来院の方々にも正しい知識を持っていただけるよう、簡単なQ&Aや情報等を掲載したパンフレット配布や、なかなか外出の出来ないなかで運動不足解消の一環に繋がればと、地域に応じたウォーキングマップ、またご当地食材を使った糖尿病レシピの紹介パンフレットなどの掲示や配布などを行いました。まだまだ不安定な状況ではありますが、ゆっくりとした足並みでも、一つ一つ出来ることから前に進んでいきたいと思っています。



AstraZeneca

### 編集後記

今年度も新型コロナウイルス感染症のため、対面での糖尿病週間行事実施は難しい状況でした。そのような中でも、友の会12施設で、昨年よりもパワーアップしたポスターやチラシなど、困難な状況の中でも思考を凝らした「できる活動」を実施していただきました。ありがとうございました。

2022年は「寅年」ですね。寅年は成長していく年と言われているそうです。次々と変異していく感染症に負けないよう、何事にも挑戦し、成長できる年にしていきたいと思っています。

会員継続をよろしくお願い申し上げます。  
(事務局)